IRご担当者の皆さま

「IRカンファレンス2026」開催のご案内（ハイブリッド形式）

新時代の企業経営と資本市場～IR高度化の重要性

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当協議会の活動に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本IR協議会と日本経済新聞社は、**「新時代の企業経営と資本市場～IR高度化の重要性」**を総合テーマとして、12月22日（火）に「IRカンファレンス2026」を共催いたします。今回は東京・大手町の会場で参加者のみなさまをお迎えするとともに、内容をオンライン配信する“ハイブリッド”形式にて開催いたします。

「金利ある世界」を背景に、企業経営も新たな段階を迎えていると考えられます。価値向上を期待して日本市場に流入するマネーも年々増え、今年7月に公表されたコーポレートガバナンス・コードの改訂や2023年から続く「資本コスト経営」の要請も、その流れを後押ししています。

資本市場から注目される企業の多くは、自律的に経営を改革し、成長投資や事業ポートフォリオ構築、経営資源の配分などを開示して投資家との対話を深めています。投資家も、従来以上にスピード感をもった成長戦略の実行を期待しています。

他方、企業を取り巻く環境は激動しており、リスクの認識や迅速な対応も求められます。AIに向き合い、適切に活用するといった課題も浮上しています。経営層がリーダーシップをとって投資と還元のバランスをとり、投資家の理解を得て企業価値を高めていく、そのためにはIRの高度化が重要になります。このカンファレンスでは、経営層とともに対話力を発揮し、示唆に富む企画を生み出すIR責任者・担当者の育成についても考えていきます。

今回のIRカンファレンスも、資本市場と企業でご活躍なさっているみなさまにご登壇いただけることになりました。基調講演、パネルディスカッションとも、資本市場、企業経営トップ、機関投資家を代表する方々をお招きし、それぞれのお立場からお話をいただきます。ご多用中とは存じますが、みなさま方の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

敬具

2026年11月

一般社団法人 日本IR協議会

開催概要（プログラムは4ページをご覧ください）

・基調講演は、「資本市場に育てられたソニー」をテーマとして、**ソニーグループ会長 吉田憲一郎氏**にご登壇頂きます。

ソニーはエレクトロニクス中心の事業構造から、「感動」を軸とするクリエイティブエンタテインメントカンパニーへとシフトしてきました。その過程では、無配や公募増資、投資家からの提案、事業ポートフォリオの再編など、資本市場との関わりが数多くありました。ソニーグループのCFO、CEOとしてこの変革を主導された吉田憲一郎氏に、ソニーがどのように資本市場に支えられ、経営改革を推進してこられたかについてお話いただきます。

・「IR優良企業賞2026」表彰式は、当協議会会長の手代木 功氏（塩野義製薬　代表取締役会長兼社長CEO）より**ご挨拶**申し上げた後、審査委員長の北川 哲雄氏（青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授）から**審査講評**を頂きます。
受賞企業への**トロフィー授与後、経営トップの方からスピーチ**をいただきます。

・パネルディスカッションは、「新時代の企業経営と資本市場～IR高度化の重要性」をテーマに議論します。

中東情勢などのリスクが存在するなかでも、多くの日本企業は業績を維持、向上させてきました。そうした企業経営の中核を担い、投資家に説明・対話するIR担当役員の役割は高まっています。なかでもCFOは、IR実施企業の3割以上がIR担当役員にあげています（IR活動の実態調査結果から）。投資家も評価しており、IR部門が社内の理解を得て資料やイベントを展開することによって、コミュニケーションは深まってきています。成長投資や事業ポートフォリオ改革、目標達成に向けたキャピタルアロケーションのありようが問われるなか、IRの高度化が求められています。

今回は上場企業の経営層として**日産化学　取締役副社長　CFO　大門　秀樹氏、三井物産　代表取締役常務執行役員　CFO　田中　誠氏、**機関投資家として**野村アセットマネジメント　常務　日本株グローバルヘッド村尾　祐一氏**をお迎えしてディスカッションします。コーディネーターは日本IR協議会　首席研究員の佐藤淑子が担当する予定です。

・IR支援企業様などによる**分科会（講座）、IRショーケース（展示）**も行う予定です。詳しくは、5ページ以降またはウェブサイトをご覧ください。

開催要領

■日　時： 2026年12月22日（火）

カンファレンス会場 10:30開演（10:15開場）　※分科会9:30スタート（9:00開場）

※会場参加とオンライン参加によるハイブリッド開催（事前選択）。

なお、分科会のオンライン参加はございません。

※後日、アーカイブ（オンデマンド）配信も予定しております（1月初旬まで予定）。

視聴方法はカンファレンス終了後、参加申込の皆様に、改めてお知らせいたします。

■会　場： 大手町プレイスホール＆カンファレンス（千代田区大手町二丁目3番1号）

■主　催： 日本IR協議会、日本経済新聞社

■後　援： 日本取引所グループ（JPX）／東京証券取引所、日本公認会計士協会、
日本証券アナリスト協会

■参加費：

会　員／1名につき【会 場】 4,400円（税込）【オンライン】 3,300円（税込）

非会員／1名につき【会 場】11,000円（税込）【オンライン】 8,800円（税込）

※本カンファレンスは、昼食のご用意はございません。

※お申込み受付後、請求書を発行いたしますので12月末日までにご入金ください。

■お申し込みについて：

〇申込方法

当協議会ホームページ　http://www.jira.or.jp/　からお申込みください。

※ 会場聴講のお申込・ご参加は、1 社あたり 2 名様までとさせていただきます。

分科会へのご参加も事前申込が必要です。※分科会のみのご参加はできません。

※分科会のオンライン配信はありません。

※分科会は各会場の定員に達した時点で順次、申込みを締め切らせていただきます。

〇申込締切

会場聴講：12月15日（火）17:00　オンライン聴講：12月17日（木）12:00

※会場聴講（定員250名）は定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます。

〇キャンセル期日、お申込み後の変更について

キャンセルをお受けする期日は、12月16日（水）17時までとさせていただきます。

また、お申込み後に会場聴講→オンライン聴講への変更は可能ですが、上記の期日以降は、会場聴講の費用となりますことを予めご了承ください。

〇その他

＊お申込み登録完了後には、メールにて「参加受付票」が送付されます。「参加受付票」が受信されない場合には申込みが完了しておりませんのでご注意ください。

＊総合受付ではお名刺を回収させていただきます。「参加受付票」はプリントアウト等していただき、ご自身の受講講座のご確認にお役立てください

＊感染拡大の状況によっては会場聴講を中止し、オンラインのみとなる場合もございます。あらかじめご了承いただき、お申し込みをお願いいたします。

＊ご記入いただいた個人情報はご本人の承諾なく本カンファレンスの実施目的以外には使用いたしません。

＊視聴に必要なURL及びID・パスワードを12月18日（金）迄にメールでご連絡します。なお、ID・パスワードはご参加者本人様限りのご使用をお願いいたします。

■オンライン配信について

オンライン配信は、Brightcoveにて実施いたします。
各企業様の社内LAN経由で、セキュリティ設定の関係上、アクセスできない場合がございます。
つきましては、貴社IT部門・システム部門等にご相談の上、アクセス環境を確認のうえご参加の
申込みをお願いいたします。

<Brightcove Player システム要件>

https://ja.player.support.brightcove.com/references/brightcove-player-system-requirements.html

※ご不明の場合には、お申込み前に当協議会あてにお問い合わせください。

※社内LAN以外でアクセスされる場合には、通信状況により動画・音声が途中で途切れるなど、視聴に支障が出る可能性があることをお含み置きください。

※社内LANからのアクセス不可、社内LAN以外のご利用時の通信障害等が発生いたしましても、参加費のご返金は致しかねます。また通信料は貴社またはご参加者のご負担となります。

IRカンファレンス プログラム

2026年12月22日（火）

9：30-10：15　分科会（１階フロア）　※事前登録制

10：30-11：15　基調講演（２階カンファレンス会場）

「資本市場に育てられたソニー」

講師：ソニーグループ 会長 吉田 憲一郎氏

11：15-12：30　ブレイク

11：30-12：15　分科会（１階フロア）　※事前登録制

12：30-14：00　「ＩＲ優良企業賞 2026」表彰式

主催者挨拶　手代木 功

（日本ＩＲ協議会会長／塩野義製薬 代表取締役会長兼社長 CEO）

審査講評　北川 哲雄氏

（ＩＲ優良企業賞審査委員長／青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授）

受賞企業へのトロフィー授与と経営トップの方によるスピーチ

14：00-14：30　ブレイク

14：30-15：45　パネルディスカッション

「新時代の企業経営と資本市場～ＩＲ高度化の重要性」

パネリスト:

・日産化学　取締役副社長 CFO　大門　秀樹氏

・三井物産　代表取締役常務執行役員 CFO　田中　誠氏

・野村アセットマネジメント　常務 日本株グローバルヘッド　村尾　祐一氏

・コーディネーター：日本ＩＲ協議会 首席研究員 佐藤 淑子

16：00-16：45　分科会（１階フロア）　※事前登録制

16：45　全プログラム終了

※プログラム内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

展示・分科会など

■主催および後援団体（展示・資料設置）

日本取引所グループ(JPX)／東京証券取引所

日本公認会計士協会

日本証券アナリスト協会

＜日本経済新聞社およびグループ各社＞

日本経済新聞社　情報サービス部門　情報サービスユニット

日経 BP

QUICK

日経 CNBC

ほか

■IRショーケース（展示時間:終日）

出展社	展示内容
①ジェイ・ユーラス・アイアール	戦略的IRの展開、ガバナンスとIRに関するアドバイス、アクティビスト対策などなんなりとご相談ください。弊社コンサルタントがお待ちしております。ご来場者特典もご準備しております。
② IR Agents	『最も投資家視点に近いIR支援会社』をスローガンに幅広いIRコンサルティングを提供します。当日は、logmiやバフェットコードにも登壇する元機関投資家の代表がブースでお迎えします。

③One World Link	「英文IRを、翻訳から企業の資産へ。」過去の英訳や用語を安全に一元管理し、企業の資産として蓄積・活用する「OWLBASE」をご紹介。さらに、ブースにて英文IRを無料診断します！
④マジカルポケット	IRサイト制作・自動更新、適時開示メール配信に加え、ロボフォリオを活用した自社株保有者・お気に入り登録者へのIR情報プッシュ通知サービスをご紹介します。
⑤日本基幹システム（JCS）	全てのIR担当者に“賢いAI部下”を。「HONJIN(本陣)for IR」が情報収集・記録・分析・資料作成を実行し、経営陣・投資家への伝達も効率化します。繁閑での支出も調整可能。是非当社ブースへ。
⑥大和総研	Ｄａｉｗａ　ＩＲ　Ｃｏｎｎｅｃｔは、株主総会やＩＲイベントで投資家の質問をリアルタイムに書き起こし・要約し、事前登録したＱＡをもとに回答案を生成するＡＩソリューションです。
⑦アクロポリス・アドバイザーズ	IR/SRアドバイザリーと経営企画・取締役会事務局向けご支援を提供いたします。機関投資家出身者、経営企画出身者、公認会計士・弁護士有資格者がご担当いたします。
⑧インベスター・コミュニケーションズ	AIによる自動生成で統合報告書を1週間・100万円で作成する「統合報告書AI革命」に加え、無料AI英訳・無料AI資料検索・無料AIプレゼン資料作成の「IR AIフリー」シリーズを提供中。

■IR分科会

◎分科会では朝・夕はソフトドリンク、昼は軽食をご用意します。

◎オンライン配信はありません。

◎IR分科会聴講をご希望の方は、事前のお申込みをお願いします。IR分科会聴講だけの入場は出来ません。※1 社あたり 2 名までのお申込みとさせていただきます。

◎当日は必ずIRカンファレンスの受付を済ませてから、IR分科会の会場へお入りください。

●定員:分科会Ａ会場は55名／B会場は64名／Ｃ会場は58名／Ｄ会場は55名（先着順）

●お申込み方法:HP より参加を希望する会場・会社名をご選択いただきお申込みください。

●朝パート 9:30～10:15　ドリンク付き

開催社／会場	講座内容
One World Link （分科会会場A）	**テーマ:英文IRのリスクは、AIの誤訳だけではない。― AI活用で見落としがちな品質・未公表情報・業務プロセスをどう管理するか** **講師:One World Link　Founder＆CEO　大松澤 実絵 氏、One World Link　英文品質管理責任者　エリック・ジャクソン 氏、One World Link　OWLBASE開発・セキュリティリード　アジザ・カメット 氏** 積み重ねてきた英文IR、記録で終わらせるか、資産として生かすか。AIと専門家を使い分け、説得力のある英文IR開示へ。AIの落とし穴、未公表情報の管理、開示までのプロセスを実例用いて解説します。
インベスター・コミュニケーションズ （分科会会場B）	**テーマ:新サービス「統合報告書AI革命」および「IR　AIフリー」紹介** **講師:インベスター・コミュニケーションズ　代表取締役　富田 耕輔 氏** 統合報告書をＡＩでフル生成。最短１週間・１００万円で日英同時開示を実現する「統合報告書ＡＩ革命」と、ＩＲ英訳・他社事例リサーチ・プレゼン資料制作が無料の「ＩＲＡＩフリー」をご紹介いたします。
Euroland IR （分科会会場C）	**テーマ:AIを活用した最新IR戦略** **講師:Euroland IR　アジア太平洋統括責任者　ジェニー・ジー・ホァン 氏** 顧客ニーズに合わせてカスタマイズされた最新のWebページを紹介する。AIを活用し、マルチ言語に対応、投資家との対話を一層深掘りするサーチ機能のデモンストレーションを行う。
ログラス （分科会会場D）	**テーマ:業務効率化と対話の深化を両立する ―AI時代の一次情報に基づくIR改善サイクル** **講師:ログラス　AI IR 部　事業戦略責任者　水野 浩之 氏** 投資家との対話という一次情報を、AIで容易にデータ化できる時代。業務効率化にとどまらず、対話の深化やIR活動のPDCA改善、組織内の知見共有につなげるAI活用の最新事例をご紹介します。

●昼パート　11:30～12:15　軽食(サンドイッチ)・ドリンク付き

開催社／会場	講座内容
リンクソシュール （分科会会場A）	**テーマ:IRに、経営者の「体温」を。 ～経営の意思と資本市場からの期待をつなぐ、IRだからこそできる対話～** **講師:リンクソシュール　代表取締役社長、日本IRプランナーズ協会　理事　白藤 大仁 氏** 経営者の信念や意思を、IR担当者はいかに資本市場に届けるのか。マクロ環境や市場動向と共に、IR担当者だからこそできる経営者の意思を引き出すための対話術と情報開示への活かし方を解説します。
ストリームライン （分科会会場B）	**テーマ:AIを使いこなす投資家に、自社のIR資料はどう読まれているか？** **講師:ストリームライン　代表取締役　梶山 洋二 氏** 投資家の分析にAIが欠かせなくなった今、これからのIR資料には何が求められるのか。決算説明会資料を中心とした独自のAI分析やインタビューの結果をもとに、具体的な対策ポイントを解説します。
アクロポリス・アドバイザーズ （分科会会場C）	**テーマ:中期経営計画をエクイティストーリーに変換する2つの手法** **講師:アクロポリス・アドバイザーズ　資本市場戦略部　パートナー　公認会計士　小島 光裕 氏、パートナー　公認会計士　西村 晃一 氏、パートナー　北見 雅昭 氏、ディレクター　谷貝 雅彦 氏** 本分科会では、事業部主導で策定される事業計画、企画部門主導で策定される経営計画について、エクイティストーリーに変換する２つの手法をお話いたします。
i-MediX （分科会会場D）	**テーマ:成果創出型のIRメディア戦略と実践メソッド ～実務者視点で解き明かすWebサイトを基点としたメディア価値の最大化～** **講師:i-MediX　マーケティングユニット　村岡　祐輔 氏** 投資家やAIの急速な変化はリスクにも機会にもなります。今の資本市場はWebや統合報告書の価値を最大化する絶好機です。本講演では戦略的に成果を創出する最適な情報開示体系と実践手法をご紹介します。

●夕パート　16:00～16:45　ドリンク付き

開催社／会場	講座内容
Straker Japan（Arbitr Group） （分科会会場A）	**テーマ：AIが拓くIRの未来ー 英文開示の進化と、企業の情報発信を変えるAIの新潮流** **講師：Straker Japan カントリーマネージャー、アビタグループSVP 三森 暁江 氏** 領域特化型AIが英文開示の速さ・品質・情報量を高め、企業価値をより豊かに伝える。注目される企業固有の「コンテキスト」の活用や、経営者の声と表情を再現する驚きの「AI Dubbing」も紹介。
ギフティ （分科会会場B）	**テーマ：個人株主を増やすだけで終わらせない ー 2027年に向けた「ファン株主づくり」の最新動向と実践策【参加特典：デジタル優待体験】** **講師：ギフティ Gift Creation事業本部 IR・SR Gift Unit マネージャー 渡辺 淳一 氏、ギフティ Gift Creation事業本部 IR・SR Gift Unit 株主エンゲージメント戦略担当 大志田 空 氏** 個人株主の獲得から長期保有・ファン化へ。自社商品・優待の有無を問わず、2027年の株主優待・IR最新動向と実践例を紹介。会場ではデジタル優待の体験もご用意しています。
ジェイ・ユーラス・アイアール （分科会会場C）	**テーマ：IR実務の最前線 ～最新動向と実務上の工夫～** **講師：ジェイ・ユーラス・アイアール ディレクター 鈴木 紀子 氏、ディレクター 原山 真紀 氏** 東証の市場改革、CGコードの改訂、そしてアクティビズムの隆盛。企業を取り巻く環境は目まぐるしい変化が見られます。「選ばれる企業」であり続けるための条件は何か。ご一緒にIR戦略を考えてみませんか。
SCREENクリエイティブコミュニケーションズ （分科会会場D）	**テーマ：IR翻訳現場から ～AI×人間翻訳で実現する「伝わる」発信へ～** **講師：SCREENクリエイティブコミュニケーションズ 翻訳グループ IRプロリンガル シニアスペシャリスト コリン・ウィルソン 氏** AI 時代の IR 翻訳に求められる戦略的な視点とは。AI の力と限界を見極め、人間翻訳との効果的な組み合わせによって、リスクを抑えながら、投資家に「伝わる」英文をつくるための考え方を探ります。

●お問い合わせ　一般社団法人 日本IR協議会
〒101-0047　東京都千代田区内神田1-6-6　MIFビル9階
E-mail：conference@jira.or.jp